

1. 基本事項

Table with columns: 事務事業名, 事業類型, ソフト事業(任意), 総合計画, 担当課, 総合政策課, 施策, 担当者, 「伝わる」情報発信の充実, 小施策, 「市民が知りたいこと」が伝わる情報発信, 内線, 214, 目的, 対象, 全市民, 手段, これまで行政情報の発信手段として中心的な役割を担ってきた市報とホームページに加え、SNSを活用した情報発信に取り組む。また、見やすさやアクセシビリティに配慮したページとなるように、ホームページ全体の管理を行う。意図, 対象をどうしたいか, 多様化する情報発信に柔軟に対応し、欲しい情報を収集しやすい体制を整備することで、市民の市政への関心や参加意欲の向上と本市への愛着や誇りの醸成を図る。法令根拠・条例・要綱等, 新庄市広報発行規程, 予算区分, 一般会計, 2 款, 1 項, 8 目, 0001, 広報事業費, 事業期間, 単年度, 事業年度, 年度, 1年限りの事業, 期間限定, 始期, 年度, 終期, 年度, 市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで, 単年度繰り返し, 開始年度, 年度, 期限の定めのない事業

2. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns: 年度, R2, R3, R4, R5, R6, R7, R4 歳入の内訳, 総事業費(①+②), 35,043, 28,837, 15,924, 0, 0, 有料広告掲載料(市報・ホームページ), 2,240, ①事業費, 13,920, 20,377, 15,433, 15,924, 内訳, 特定財源, 2,160, 2,260, 2,240, 2,160, 一般財源, 11,760, 18,117, 13,193, 13,764, 0, 0, R4 歳出の内訳(主要なものを除くはその他でまとめて記載), ②人件費, 14,666, 13,404, 0, 0, 0, 市報印刷製本費, 11,219, 内訳, 正規職員(人), 1.94, 1.79, ホームページシステム等使用料, 2,085, 1人当たり単価, 7,560, 7,488, 消耗品費・燃料費・通信運搬費・負担金 など, 2,129, 会計年度任用職員(人), 0.00, 0.00

3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

Table with columns: 活動指標, 指標名称, 広報誌作成ページ数(頁), 年度実績, R2, R3, R4, R5, R6, R7, R7計画, 300, 説明(算式等), 広報しんじょう・おしらせ版の合計頁数, 達成率, 94.7%, 97.3%, 93.3%, 0.0%, 0.0%, 0.0%, 成果指標, 指標名称, ホームページ閲覧件数(PV), 年度実績, R2, R3, R4, R5, R6, R7, R7目標, 3,000,000, 説明(算式等), googleアナリティクスで解析されたページビュー数, 達成率, 60.7%, 83.1%, 65.6%, 0.0%, 0.0%, 0.0%

4. 項目別評価及び課題

Table with columns: 妥当性, 有効性, 効率性, 改善の方向性, 0 高い, 0 高い, 0 高い, A 計画どおりに事業を進めることが適当, 1 やや高い, 1 やや高い, 1 やや高い, B 効率化の視点で改善を検討, 2~3 やや低い, 2~3 やや低い, 2~3 やや低い, C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討, 4~5 低い, 4~5 低い, 4~5 低い, D 事業の統合・休廃止の検討, 現時点の課題(課題がある場合は記載), SNSなどでのプッシュ型配信では発信する情報ごとに対象者を絞ることができないため、受信者の属性によっては不要な情報も一律に発信していることになる。また、ホームページなどでのプル型配信では、必要な情報にアクセスできなかったり疑問を解決できなかったりした際は電話や窓口での問い合わせに直結するため、双方ともに情報伝達効率性が低下してしまう。

5. 成果及びコスト投入の方向性

Table with columns: 方成性, 拡充, 現状維持, 縮小, 休廃止, ④, ②, ①, ⑤, ③, ※, ⑥, ⑦, 皆減, 縮小, 現状維持, 拡大, 成果及びコスト投入の方向性, コスト投入の方向性

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

Table with columns: 手法, SNSを活用したプッシュ型の情報発信を行う際に、情報の性質ごとに受信者を限定できるような仕組みを導入する。また、プル型配信での情報取得を容易に行えるチャットボットなどを導入する。コスト, 導入費用: 100万円, 運用費用: 90万円/年

※・・・二次評価の結果(一次評価と異なる場合)

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

Table with columns: 成果, 令和4年度は広報紙発行に係る印刷費用の増加のために、ページ数の増加については予算がつかなかったため、昨年度よりも減少した。また、SNSによる情報発信においては、LINEでのセグメント配信などの予算がつかなかったが、市のイベントなどの情報発信を実施したことにより、友達数や配信数を伸ばすことができた。課題に対する現在の取組状況, 伝わる広報の推進およびSNSを活用した情報発信などについては、総合計画やデジタル推進計画に則り、企画政策・デジタル推進室の舵取りの中で計画的に進めていく。また、広報紙やホームページの作成に係るテンプレートを作成するなどして、全庁的な広報力の向上を図る。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

## 1. 基本事項

事務事業名	公開型GIS運用事業				事業類型	ソフト事業(任意)
総合計画	柱	7	シティプロモーション		担当課	総合政策課
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実		担当者	國分亮一
	小施策	①	「市民が知りたいこと」が伝わる情報発信		内線	426
目的	対象	インターネット利用環境のある方。			手段	インターネット技術と公開型webGIS技術を活用し、市のホームページ上で閲覧できるようにする。提供サーバーは、委託先のASPサービスを利用する。
	意図 対象をどうしたいか	常時インターネットを介して、最新の地理情報を閲覧・利用できる状態に保つ。				
法令根拠・条例・要綱等						
予算区分	一般会計		2 款	1 項	9 目	0001 電算管理事業費
事業期間	○ 単年度		事業年度	年度	1年限りの事業	
	○ 期間限定		始期	年度 ~ 終期	年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで
	● 単年度繰り返し		開始年度	平成 24 年度 ~	年度	期限の定めのない事業

## 2. 投入資源

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		2,152	2,144	1,320	0	0		
①事業費	1,320	1,320	1,320	1,320				
内訳	特定財源	0	0	0	0			
	一般財源	1,320	1,320	1,320	1,320	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)
②人件費		832	824	0	0	0	公開型地理情報システム利用料	1,320
内訳	正規職員(人)		0.11	0.11				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00					

## 3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

活動指標	指標名称	公開型webGISで情報提供している 主題データ数(件)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
			実績	6	6	6				
	説明(算式等)		達成率	60.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
成果指標	指標名称	公開型webGIS年間閲覧数(人)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
			実績	2,473	1,717	1,911				
	説明(算式等)		達成率	82.4%	57.2%	63.7%	0.0%	0.0%	0.0%	

## 4. 項目別評価及び課題

妥当性		有効性		効率性		改善の方向性				
●	0	高い	●	0	高い	●	0	高い	●	A 計画どおりに事業を進めることが適当
○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	B 効率化の視点で改善を検討
○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討
○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	D 事業の統合・休廃止の検討
現時点の課題 (課題がある場合は記載)		目標である、年1件の主題データの増加ができていない。公開型GISの活用を誘導するための仕組みづくりが必要。								

## 5. 成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性					
方 成 果 性 の 方 向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		⑤	③	✓
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

## 6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	各年度に1件程度ずつ主題データの情報提供していく。内容については、利用者にとって有益と思える情報の案をシステム統計室で提案し、関係課で検討のうえ決定していく。
コスト	主題データを増やす場合、業者に委託するかを原課が判断し予算化する必要がある。

## 7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	昨年度は、閲覧数の減少があったが、今年は若干増刊傾向にある。主題データの増加を謳ったが、増加できていない。コンスタントな数字があるため、一定程度閲覧されているかと思われる。
課題に対する現在の取組状況	活用を促すために、研修会を実施し、他自治体の動向や実例をベンダーより紹介してもらった。ベンダーより活用方法等について、個別の相談にも応じてもらったが、現状では増加にいたらず。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

1. 基本事項

事務事業名		広聴事業			事業類型	ソフト事業(任意)													
総合計画	柱	7	シティプロモーション			担当課	総合政策課												
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実			担当者	山口 朝美												
	小施策	②	「市が知らせたいこと」が伝わる情報発信			内線	215												
目的	対象	市民			手段	文書や電話・メールにより寄せられた市民の声と要望・陳情に対する回答を行う。また、まちづくり懇談会などによる市長を交えた意見交換などを行う。													
	意図 対象をどうしたいか	市民からより多くの意見・要望を提案できる環境を整備し、市の行政課題を把握する。																	
法令根拠・条例・要綱等		新庄市広報委員に関する規則																	
予算区分		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> <td colspan="3">事業費は人件費のみ</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						款	項	目	事業費は人件費のみ			款	項	目			
款	項	目	事業費は人件費のみ																
款	項	目																	
事業期間		<input type="radio"/> 単年度 事業年度 年度 1年限りの事業 <input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し 開始年度 年度 ~ 期限の定めのない事業																	

D 実行

2. 投入資源 (単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		3,402	2,097	0	0	0		
①事業費	0	0	0	0				
内訳	特定財源	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)	
②人件費		3,402	2,097	0	0	0		
内訳	正規職員(人)		0.45	0.28				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00					

C 評価

3. 評価指標

		第5次総合計画実施計画(前期)							
活動指標	指標名称	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
指標	まちづくり懇談会などの開催回数(回)		-	-	-				5
	説明(算式等)	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
成果指標	意見・要望に対する回答(対処)率	年度実績	100	100	100				100
	説明(算式等)	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

A 改善

4. 項目別評価及び課題

妥当性	有効性		効率性		改善の方向性				
<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input checked="" type="radio"/> A	計画どおりに事業を進めることが適当		
<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input type="radio"/> B	効率化の視点で改善を検討		
<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> C	事業規模、内容、実施主体の見直し検討		
<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> D	事業の統合・休廃止の検討		
現時点の課題(課題がある場合は記載)	要望・陳情をされた団体に対しては文書にて回答しているが、その内容について市のホームページなどで公表していない。他市の公表状況を調査・研究し、公表の基準について方向性を示したい。								

5. 成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性				
方 成 果 性 の 方 向 性	拡充		④	② ①
	現状維持		⑤	③ ✓
	縮小		⑥	
	休廃止	⑦		
		皆減	縮小	現状維持 拡大
コスト投入の方向性				

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	要望・陳情に対する回答の内部規定を策定し、市職員全体に周知し、それに基づいて実施していく。
コスト	費用は発生しない。

事後評価

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	要望・陳情を受理したことにより行政課題の把握ができた。また、要望・陳情に対して文書回答を行い、その後の施策などに活かすことができた。
課題に対する現在の取組状況	市民からの要望・陳情の取扱いについては、処理要領等、基準になるものがなく、各課による対応にも差があったことから、市職員に対する内部規定として、取扱い基準の設定を進めていく。

1. 基本事項

事務事業名		新庄市まちづくり応援寄附金推進事業				事業類型	ソフト事業(任意)
総合計画	柱	7	シティプロモーション			担当課	総合政策課
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実			担当者	五十嵐 隆志
	小施策	③	市外に「市の魅力」が伝わる情報発信			内線	214
目的	対象	本市外に在住のふるさと納税制度利用者(主として新庄市にゆかりのある他市町村在住者)				手段	ふるさと納税ポータルサイトへの掲載やパンフレットの作成・送付などを通して、本市へのまちづくり応援寄附金を募集する。また、事業者と連携し、新規お礼品の開発や情報発信を通して、本市の魅力を広めていく。なお、頂いた寄附金については基金に積み立て、寄附者の希望に応じた事業の財源として活用する。
	意図(対象をどうしたいか)	寄附を通して本市のまちづくりを応援してくれる寄附者を増やす。また、本市への継続寄附者を一定数獲得する。					
法令根拠・条例・要綱等		地方税法、新庄市まちづくり応援寄附金条例、新庄市まちづくり応援寄附金条例施行規則					
予算区分		一般会計	2 款	1 項	7 目	4	ふるさと納税事業費
事業期間		○ 単年度 事業年度 年度		1年限りの事業			
		○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度		市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで			
		● 単年度繰返し 開始年度 20 年度 ~		期限の定めのない事業			

2. 投入資源

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		1,280,818	1,004,012	1,000,022	0	0	ふるさと納税寄附金	993,152
①事業費	1,536,248	1,273,031	995,101	1,000,022			積立金利子収入	15
内 特定財源	1,536,248	1,270,360	993,167	1,000,022			R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)	
内 一般財源	0	2,671	1,934	0	0	0	報償費	295,322
②人件費		7,787	8,911	0	0	0	役員費	103,926
内 正規職員(人)		1.03	1.19				委託料	147,835
内 1人当たり単価		7,560	7,488				その他(報酬・需用費・使用料・償還金・積立金)	448,018
会計年度任用職員(人)		3.00	2.00					

3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

活動指標	指標名称	周知広報の回数(回)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
			実績	11	13	28				15
成果指標	指標名称	周知広報の回数	達成率	73.3%	86.7%	186.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
成果指標	指標名称	寄附額(億円)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
			実績	15.4	12.7	9.9				10
成果指標	説明(算式等)		達成率	154.0%	127.0%	99.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 項目別評価及び課題

妥当性	有効性		効率性		改善の方向性				
○ 0	高い	○ 0	高い	○ 0	高い	○ A 計画どおりに事業を進めることが適当			
● 1	やや高い	● 1	やや高い	○ 1	やや高い	● B 効率化の視点で改善を検討			
○ 2~3	やや低い	○ 2~3	やや低い	● 2~3	やや低い	○ C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討			
○ 4~5	低い	○ 4~5	低い	○ 4~5	低い	○ D 事業の統合・休廃止の検討			
現時点の課題(課題がある場合は記載)		令和2年度以降、寄附額が減少傾向にあるため、早急に寄附向上施策の実施が必要であるが、人員面・予算面の原因から事業実施についての進捗が進んでいない状況である。							

5. 成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性					
方 成 果 性 の 向 向 性	拡充		④	② ✓ ①	
	現状維持		⑤	③	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	本市お礼品のプロモーションについて、広告出稿などの年間計画等を作成し、計画的にプロモーションを実施する。
コスト	募集にかかる経費のうち、プロモーションに活用できる予算は10億円の寄附額に対し最大で400万円の見込みである。このうち200万円を広告費として9月補正にて計上する予定である。

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	各サイトで実施している特集への応募、マスコミや雑誌への取材対応などを通して、多くのプロモーションを実施した。また、9月補正にて広告予算を計上し、年末にかけて広告出稿を実施した他、年2回のパンフレット発行・送付、オンラインショップへの対応などを通して、寄附の減少抑制に努めた。さらに、企業版ふるさと納税のプッシュ型の受け入れ態勢を整えた。
課題に対する現在の取組状況	配置された人員・予算内で効果的なプロモーションを模索し実施している。昨年度に引き続き、令和5年度も広告予算を計上しているため、効果的な広告配信にも力を入れていく。また、ふるさと納税市場のシェアを多く占める楽天サイトをリニューアルオープンしたため、今後は更なる寄附増加に向け、楽天サイト内での広告を配信していく。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

1. 基本事項

事務事業名		新庄市イメージキャラクターブランディング事業			事業類型	ソフト事業(任意)	
総合計画	柱	7	シティプロモーション			担当課	商工観光課
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実			担当者	若月 優太
	小施策	③	市外に「市の魅力」が伝わる情報発信			内線	254
目的	対象	市民及び市外在住者			手段	・かむてんTwitterによる情報発信 ・話題性のある商品開発、コラボレーション商品の提案 ・かむてんイラスト使用許可、着ぐるみ貸出への申請処理 ・かむてんの各種キャラクターイベント、地元イベントへの参加 上記により、キャラクター(かむてん)を通して、本市の魅力を発信する。	
	意図 対象をどう したいか	かむてんの情報発信力を強化して、本市の魅力を市外・県外へ効果的に発信することで、本市との交流・関係人口の増加に結び付ける。					
法令根拠・条例・要綱等							
予算区分		一般会計	7 款 款	1 項 項	2 目 目	0007	新庄市イメージキャラクターブランディング事業費
事業期間		○ 単年度		事業年度	年度	1年限りの事業	
		● 期間限定		始期 H27 年度	～ 終期 R7 年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで	
		○ 単年度繰り返し		開始年度	年度	～	期限の定めのない事業

2. 投入資源 (単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		7,063	4,963	0	0	0		
①事業費	3,388	2,300	2,118	0				
内訳	特定財源	0	0					
	一般財源	3,388	2,300	2,118	0	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)
②人件費		4,763	2,845	0	0	0	かむてん実行委員会負担金	2,118
内訳	正規職員(人)		0.63	0.38				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0.00						

3. 評価指標

		第5次総合計画実施計画(前期)								
活動指標	指標名称	年間ツイート数	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
		説明(算式等)	リツイート、引用リツイートは含むが、リプライは含まない	達成率	107.9%	103.3%	60.2%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標	指標名称	フォロワー数	年度実績	5,352	6,282	10,000				8,000
		説明(算式等)	フォロワー数の増加が、情報発信力の強化に直結する	達成率	66.9%	78.5%	125.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4. 項目別評価及び課題

妥当性		有効性		効率性			改善の方向性				
●	0	高い	○	0	高い	○	0	高い	○	A 計画どおりに事業を進めることが適当	
○	1	やや高い	●	1	やや高い	○	1	やや高い	○	B 効率化の視点で改善を検討	
○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	●	2~3	やや低い	●	C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討	
○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	D 事業の統合・休廃止の検討	
現時点の課題(課題がある場合は記載)		新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、事業継続に係る経常経費に対して、安定的な収益確保が困難である。よって、コスト削減による事業規模の見直しが必要。									

5. 次年度に向けた成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性					
方 成 果 性 の 向 向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		⑤	③	
	縮小		⑥	✓	
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	経常経費として事業費の大部分を占める、Twitterやキャラクター監修委託料を廃止し、市職員による着ぐるみの管理やイラスト使用申請事務等を行う。
コスト	委託料、イベント出演旅費等の削減。

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	かむてん公式Twitterを活用し、市民や市外在住者に市の情報発信・魅力発信を行うことができた。
課題に対する現在の取組状況	委託料、イベント出演旅費等の削減。現在は着ぐるみの管理とイラスト使用申請事務等を行っている。着ぐるみ管理等の予算は商業振興対策事業費に計上している。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

1. 基本事項

事務事業名		新庄フィルムコミッション事業				事業類型	補助金・負担金事業(ソフト事業)
総合計画	柱	7	シティプロモーション			担当課	商工観光課
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実			担当者	矢口恭平
	小施策	③	市外に「市の魅力」が伝わる情報発信			内線	253
目的	対象	映画、テレビ等の撮影隊				手段	本市のロケーションに関する情報発信や撮影隊とのパイプ作りを担う新庄フィルムコミッションに負担金を抛出し、その活動を支援する。
	意図 対象をどうしたいか	ロケーション撮影地として本市を選択してもらう					
法令根拠・条例・要綱等							
予算区分	一般会計	7 款	1 項	3 目	0001	観光交流推進事業費	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度	事業年度	年度	年度	1年限りの事業		
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定	始期 R3 年度	～	終期 R7 年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで		
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し	開始年度	年度	～	期限の定めのない事業		

2. 投入資源 (単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		2,344	2,321	300	0	0		
①事業費	500	0	0	300				
内訳	特定財源	0	0	0				
	一般財源	500	0	0	300	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)
②人件費		2,344	2,321	0	0	0	新庄フィルムコミッション負担金	0
内訳	正規職員(人)		0.31	0.31				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0						

3. 評価指標

		第5次総合計画実施計画(前期)								
活動指標	指標名称	誘致活動回数(回)	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	説明(算式等)	ロケハンや具体的問い合わせへの対応含	達成率	13.3%	10.0%	36.7%	0.0%	0.0%	0.0%	30
成果指標	指標名称	誘致件数(件)	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	説明(算式等)		達成率	5.0%	10.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20

4. 項目別評価及び課題

妥当性	有効性		効率性		改善の方向性	
<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> A 計画どおりに事業を進めることが適当
<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> B 効率化の視点で改善を検討
<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input checked="" type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討
<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> D 事業の統合・休廃止の検討
現時点の課題(課題がある場合は記載)	コロナの影響が大きく、思うように事業実施できていない。映画やCMのロケがあった場合、撮影隊滞在による直接的経済効果のほか、市内外に対する本市のイメージアップ効果も期待できることから交流拡大への寄与は大きいと考えているが、年度単位で明示的な成果がある性質の事業ではないため、事業評価が難しい。					

5. 次年度に向けた成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性				
方成 向果 性 の	拡充		④	② ①
	現状維持		⑤	③ ✓
	縮小		⑥	
	休廃止	⑦		
		皆減	縮小	現状維持 拡大
コスト投入の方向性				

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	団体のPRや制作会社等との関係維持など最低限の事業を継続しながら、事業の枠組み再検討など、適正な評価の手法を検討する。
コスト	当面現状維持。ただし今後の事業内容によっては、将来的な資源投入も必要となるため、財源確保も合わせて考慮していく。

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	都市部では既にコロナ後に向けた宣伝広告事業が復活していることもあり、長期にわたる大手メーカーCM撮影誘致が実現した。また、これまでの取組の成果もあってか、雑誌やTVなどのロケハン誘致も徐々に増えてきている。
課題に対する現在の取組状況	シティプロモーションの観点において重要な事業であるため、引き続き団体PRや映像等制作会社との関係維持を継続しながら事業の枠組みを再検討している。

## 1. 基本事項

事務事業名		情報発信事業	事業類型	ソフト事業(任意)
総合計画	柱	7 シティプロモーション	担当課	商工観光課
	施策	1 「伝わる」情報発信の充実	担当者	野尻 拓
	小施策	③ 市外に「市の魅力」が伝わる情報発信	内線	252
目的	対象	観光客	手段	パンフレット等の作成、各種メディアへの情報提供、電話照会対応、ホームページの更新、県内外の観光関係事業所への情報提供、観光客へのパンフレット送付 他
	意図 対象をどうしたいか	観光情報の発信による誘客の促進。		
法令根拠・条例・要綱等				
予算区分	一般会計	7 款 款	1 項 項	3 目 目
事業期間	○ 単年度	事業年度	年度	1年限りの事業
	● 期間限定	始期 R3 年度	～ 終期 R7 年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで
	○ 単年度繰り返し	開始年度	年度	～ 期限の定めのない事業

## 2. 投入資源

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		2,341	2,017	0	0	0		
①事業費	979	602	594	0				
内訳	特定財源	0	0					
	一般財源	979	602	594	0	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)
②人件費		1,739	1,423	0	0	0	新庄市ガイドブック改訂・増刷	594
内訳	正規職員(人)		0.23	0.19				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00					

## 3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

活動指標	指標名称	観光パンフレット等配布先件数	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
			実績	36	50	60				
	説明(算式等)		達成率	24.0%	33.3%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	150
成果指標	指標名称	新庄市観光客数(千人)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
			実績	270	174					
	説明(算式等)	山形県観光客数調査	達成率	27.0%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1,000

## 4. 項目別評価及び課題

妥当性		有効性		効率性		改善の方向性				
○	0 高い	○	0 高い	○	0 高い	○	A	計画どおりに事業を進めることが適当		
●	1 やや高い	●	1 やや高い	●	1 やや高い	○	B	効率化の視点で改善を検討		
○	2~3 やや低い	○	2~3 やや低い	○	2~3 やや低い	●	C	事業規模、内容、実施主体の見直し検討		
○	4~5 低い	○	4~5 低い	○	4~5 低い	○	D	事業の統合・休廃止の検討		
現時点の課題 (課題がある場合は記載)		新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止や県境をまたぐ人の流れが制限されたため、パンフレットの配布数は伸びなかった。								

## 5. 次年度に向けた成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性					
方 成 果 性 の 方 向 性	拡充		④	② ✓ ①	
	現状維持		⑤	③	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

## 6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	コロナ禍ではあるが、今後の旅行需要に備え、新庄のPR活動は必要、雑誌媒体や広告への掲載は積極的に行っていきたい。
コスト	雑誌媒体や広告への掲載への費用の捻出を検討したい。

## 7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和されたため、パンフレットの配布数が増えてきている。また、商工観光課Twitter、ラインやFacebook、Instagramを利用して情報発信を行った。
課題に対する現在の取組状況	今後新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されていくことが予想されるため、人流が増加し、パンフレットの配布先である観光立ち寄り施設での需要の増加が見込まれる。今後の需要の増加に備えて現在のパンフレットの内容を更新し増刷していく。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

1. 基本事項

事務事業名		ふるさと応援隊事業			事業類型	補助金・負担金事業(ソフト事業)	
総合計画	柱	7	シティプロモーション			担当課	商工観光課
	施策	1	「伝わる」情報発信の充実			担当者	矢口恭平
	小施策	③	市外に「市の魅力」が伝わる情報発信			内線	253
目的	対象	会員			手段	会員情報誌等の送付や交流会を開催して適時的確な情報発信を行うとともに、特産品等の購入機会の増加や来訪しやすい環境づくりを行う。	
	意図 対象をどうしたいか	訪れたり、特産品を購入する人を増やす。					
法令根拠・条例・要綱等							
予算区分		一般会計	7 款 款	1 項 項	3 目 目	0003	物産振興対策事業費
事業期間		○ 単年度		事業年度	年度	1年限りの事業	
		● 期間限定		始期 R3 年度	～ 終期 R7 年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで	
		○ 単年度繰返し		開始年度	年度	～	期限の定めのない事業

D 実行

2. 投入資源 (単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		3,873	2,971	2,500	0	0		
①事業費	3,650	1,000	500	2,500				
内訳	特定財源	0	0					
	一般財源	3,650	1,000	500	2,500	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)
②人件費		2,873	2,471	0	0	0	新庄市物産振興会議負担金	500
内訳	正規職員(人)		0.38	0.33				
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0	0.00					

3. 評価指標

		第5次総合計画実施計画(前期)								
活動指標	指標名称	情報発信回数	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	説明(算式等)	会員情報誌など	達成率	25.0%	25.0%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12
成果指標	指標名称	もがみ物産館で買い物した人数	年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	説明(算式等)	レジ打ちした延件数	達成率	60.3%	75.7%	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	80,000

C 評価

4. 項目別評価及び課題

妥当性		有効性		効率性		改善の方向性				
●	0	高い	●	0	高い	●	0	高い	●	A 計画どおりに事業を進めることが適当
○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	B 効率化の視点で改善を検討
○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	C 事業規模、内容、実施主体の見直し検討
○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	D 事業の統合・休廃止の検討
現時点の課題(課題がある場合は記載)		実施主体である市物産振興会議の課題と同様、販売体制強化(WEB等活用)や本市への来訪増加を目指すための事業にも取り組むよう促す必要がある。								

A 改善

5. 次年度に向けた成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性				
方 成 果 性 の	拡充		④	② ✓ ①
	現状維持		⑤	③
	縮小		⑥	
	休廃止	⑦		
		皆減	縮小	現状維持 拡大
コスト投入の方向性				

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	販売戦略や事業者連携について検討・実践し、特産品の付加価値向上を図るほか、市内旅行者等との連携による本市来訪の商品開発に取り組む
コスト	現状維持を基本とするが、今後の事業展開によってはさらに投入資源を増やす必要がある。

事後評価

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	情報発信は例年より数多く実施できた。徐々に新型コロナウイルス感染症の影響が治まってきたことで、3年振りに交流会を実施することができた。実施内容を見直し、物産振興・ふるさと納税につながる機会となった。また、移住定住の団体と連携し情報提供も行うことができた。
課題に対する現在の取組状況	交流会の企画や情報発信を行うとともに、本市への来訪機会の創出に向けた企画等についても検討を行っている。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

1. 基本事項

Table with columns: 事務事業名, 事業類型, 予算区分, 事業期間, 目的, 手段. Includes details for '史料写真等のホームページ掲載管理事業'.

2. 投入資源

(単位:千円)

Table showing resource allocation by year (R2-R7) and category (Total, Business, Personnel).

3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

Table of evaluation indicators with columns for indicator name, management content, and performance metrics (R2-R7).

4. 項目別評価及び課題

Table for item-by-item evaluation with columns for appropriateness, effectiveness, efficiency, and improvement direction.

5. 成果及びコスト投入の方向性

Table showing directions for results and cost investment with columns for expansion, maintenance, reduction, and termination.

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

Table for improvement measures with columns for methods and costs.

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

Table showing current status of results and issues for the current fiscal year.

1. 基本事項

事務事業名		やまがた就職促進奨学金返還支援事業			事業類型	補助金・負担金事業(ソフト事業)	
総合計画	柱	7	シティプロモーション		担当課	教育総務課	
	施策	2	移住・定住に向けた支援の充実		担当者	森 正一	
	小施策	①	若年者の就業支援		内線	447	
目的	対象	・県内に居住し、県内の高校を卒業または卒業見込みの者 ・国内に所在する大学等に在学または進学予定の者 ・日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けているまたは受ける予定の者 ・商工分野など助成対象分野への就業を希望する者 ・大学卒業後13カ月以内に県内に居住・就業し、かつ5年間以上継続して居住・就業する見込みの者			手段	・大学等を卒業後13カ月以内に新庄市に居住・就業し、その後5年間継続した場合、奨学金の返済残額または該当する奨学金の貸与を受けた月数に2万6千円を乗じた額のいずれか低い額を上限として支援する。 ・県内他市町村に居住した場合は助成金が1/2に減額。 ・県が返還支援額を日本学生支援機構に支払う。 ・2万6千円×48月を上限。 ・財源は基金へ県1/2市1/2	
	意図(対象をどうしたいか)	大学卒業後、市内(県内)事業所へ就業する学生の 人材育成と就労支援					
法令根拠・条例・要綱等 やまがた就職促進奨学金返還支援事業募集要項							
予算区分		一般会計	10 款	1 項	2 目	0003 教育委員会事務局運営事業費 (奨学金返還支援事業出損金)	
事業期間		○ 単年度	事業年度	年度	1年限りの事業		
		● 期間限定	始期 H27 年度	～ 終期 R7 年度	市の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで		
		○ 単年度繰り返し	開始年度	年度	期限の定めのない事業		

2. 投入資源 (単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		1,663	1,647	0	0	0		
①事業費	1,716	0	0	0				
内訳	特定財源	0	0	0				
	一般財源	1,716	0	0	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)	
②人件費		1,663	1,647	0	0	0	基金に上乗せした不用額が大きくなっており	
内訳	正規職員(人)		0.22	0.22			R3より基金内不用額を充当して対応している。	
	1人当たり単価		7,560	7,488			(上記は県内市町村統一)	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00					

3. 評価指標

活動指標	指標名称	広報活動(回)	第5次総合計画実施計画(前期)							R7計画
			年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	説明(算式等)		達成率	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
成果指標	指標名称	助成候補者認定数	第5次総合計画実施計画(前期)							R7目標
			年度実績	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	説明(算式等)		達成率	75.0%	100.0%	200.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4

4. 項目別評価及び課題

妥当性			有効性			効率性			改善の方向性		
●	0	高い	●	0	高い	●	0	高い	●	A	計画どおりに事業を進めることが適当
○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	1	やや高い	○	B	効率化の視点で改善を検討
○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	2~3	やや低い	○	C	事業規模、内容、実施主体の見直し検討
○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	4~5	低い	○	D	事業の統合・休廃止の検討
現時点の課題(課題がある場合は記載)		周知の方法について検討が必要。									

5. 次年度に向けた成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性					
方成 向果 性 の	拡充		④	②	①
	現状維持		⑤	③	✓
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	チラシ、広報紙、HP等の有効的な活用。
コスト	

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	令和4年度就業者7名の内2名の市内就業者があり、定住支援につながった。 また、令和4年度の申込者枠6名のところ、8名の申し込みがあり、定住意識の醸成につながった。
課題に対する現在の取組状況	チラシ、広報紙、HP等を有効に活用して周知を図っている。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価

1. 基本事項

Table with columns: 事務事業名, 事業類型, ソフト事業(任意), 担当課, 担当者, 内線. Includes details for '移住関連事業' and 'シティブロモーション'.

2. 投入資源

(単位:千円)

Table showing resource input by year (R2-R7) and category (Total, Personnel, etc.).

3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

Table of evaluation indicators with columns for indicator name, year, and R2-R7 performance.

4. 項目別評価及び課題

Table for item-by-item evaluation with columns for appropriateness, effectiveness, efficiency, and improvement direction.

5. 成果及びコスト投入の方向性

Table showing direction of results and cost investment with categories like expansion, maintenance, reduction, and abolition.

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

Table for improvement measures for the next year, including '移住体験住宅の整備' and 'コスト'.

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

Table summarizing current status of achievements and issues for the current fiscal year.

1. 基本事項

事務事業名		地域おこし協力隊事業	事業類型	ソフト事業(任意)
総合計画	柱	7 シティプロモーション	担当課	総合政策課
	施策	2 移住・定住に向けた支援の充実	担当者	梅本 紗也
	小施策	④ 移住促進のための情報発信の強化	内線	217
目的	対象	3大都市圏や政令指定都市の都市部から移住してきた協力隊員	手段	任期中は、定期的な面談を行うなど隊員とのコミュニケーションを図りつつ、活動について支援を行う。また、地域内の人脈づくりや住環境の整備など定住に向けた支援を行う。事業費については、国の特別交付税措置を活用する。
	意図 対象をどうしたいか	他地域との人的交流を図り、関係人口の増加等本市の地域活性化を担ってもらう。また、任期満了後に本市へ定住している状態。		
法令根拠・条例・要綱等		新庄市地域おこし協力隊設置要綱、新庄市地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金交付要綱、新庄市地域おこし協力隊員の住居に関する要綱		
予算区分		一般会計	各担当課の予算に計上	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度	事業年度	年度	1年限りの事業
	<input type="radio"/> 期間限定	始期	年度 ~ 終期	年度の裁量で実施している事業は基本的に実施計画前期の終期令和7年まで
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し	開始年度	平成 26 年度 ~	期限の定めのない事業

2. 投入資源

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R4 歳入の内訳	
総事業費(①+②)		4,309	4,118	0	0	0		
①事業費	0	0	0	0				
内訳	特定財源	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	0	0	R4 歳出の内訳(主要なもの以外はその他でまとめて記載)	
②人件費		4,309	4,118	0	0	0	地域おこし協力隊における事業費は各担当課の	
内訳	正規職員(人)		0.57	0.55			予算に計上している	
	1人当たり単価		7,560	7,488				
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00					

3. 評価指標

第5次総合計画実施計画(前期)

活動指標	指標名称	採用した協力隊員数(人)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
			実績	2	5	3				
成果指標 <td rowspan="2">指標名称</td> <td rowspan="2">定住者数(人)</td> <td>年度</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td rowspan="2">R7目標</td>	指標名称	定住者数(人)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
			実績	5	6	6				
	説明(算式等)	累計人数	達成率	50.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 項目別評価及び課題

妥当性		有効性		効率性		改善の方向性				
<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input type="radio"/> 0	高い	<input checked="" type="radio"/> A	計画どおりに事業を進めることが適当			
<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input checked="" type="radio"/> 1	やや高い	<input type="radio"/> B	効率化の視点で改善を検討			
<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> 2~3	やや低い	<input type="radio"/> C	事業規模、内容、実施主体の見直し検討			
<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> 4~5	低い	<input type="radio"/> D	事業の統合・休廃止の検討			
現時点の課題 (課題がある場合は記載)		協力隊任期中のサポート体制や任期後の定住、起業に向けた行政の支援が不足している状況にある。								

5. 成果及びコスト投入の方向性

成果及びコスト投入の方向性				
方 成 果 性 の 向 向 性	拡充		④	② ①
	現状維持		⑤	③ ✓
	縮小		⑥	
	休廃止	⑦		
		皆減	縮小	現状維持 拡大
コスト投入の方向性				

6. 次年度に向けた改善(課題に対する改善があれば記載)

次年度に向けた改善	
手法	他市町村の状況を把握しながら、関係部署と協議していく。
コスト	コストは現状維持

7. 令和4年度の成果及び課題に対する現在の取組状況

成果	令和4年度は新たに3名を採用し、計7名で活動を行った。それぞれの分野において隊員が情報発信を行ったり、自らイベントを企画したりと、地域の活性化の部分で活躍してもらった。しかし、令和4年度中に退任した2名の隊員はどちらも定住に至っておらず、定住環境の整備等には課題が残る結果となった。
課題に対する現在の取組状況	任期中のサポートについては引き続き協力隊受入課への呼びかけを行うとともに、総合政策課としても月1回程度の定例会を開催し、定期的に隊員とコミュニケーションをとっている。定住、起業については、協力隊受入課と連携しながら、隊員が定住できる環境整備について検討を行っている。

事中評価(次年度の予算編成に向けた評価)

P 計画

D 実行

C 評価

A 改善

事後評価